

令和4年度博物館施設評価集計シート(3月末現在)

施設名 自然の博物館

1. 数値目標による評価

(1) 全館共通項目

						評価基準	
						目標値の達成度(100%以上)	達成
						目標値の達成度(100%未満)	未達
						昨年度2~3月分の数字を足して算出	達成見込
	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠
				達成値			特記事項
1	利用状況	利用者数	年間入館者とアウトリーチ参加者数	112,100	人	未達	第3期教育振興基本計画を踏まえた目標値 (達成値の目標値に対する割合 63.0%)
				70,593	人		
2	利用状況	常設展観覧者	年間常設展観覧者数	85,600	人	未達	基準値:85,597人 目標参考値:R3年度76,597人 (達成値の目標値に対する割合 80.3%)
				68,757	人		
3	広聴・広報	事業情報の発信	対マスコミ情報発信件数	450	件	未達	基準値:450件 目標参考値:R3年度305件 (達成値の目標値に対する割合 52.7%)
				237	件		
4	利用状況	経営努力	観覧料および事業等収入額	11,322,000	円	未達	R4年度当初予算額 (達成値の目標値に対する割合 86.8%)
				9,834,199	円		

(2) 館別独自項目

						評価基準	
						目標値の達成度(100%以上)	達成
						目標値の達成度(100%未満)	未達
						昨年度10~3月分の数字を足して算出	達成見込
	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠
				達成値			特記事項
1	資料管理	収集・整理	年間の点検資料数	10,000	点	達成	資料管理計画による 点検回数:30回
				15,770	点		
2	満足度	常設展	アンケートでの常設展満足度	90	%	達成	R3年度を参考 R3年度目標値:90% 実績値:96% 回答数:1,431件(R3回答数1,154件)
				97	%		
3	満足度	特別展・企画展	アンケートでの特別展・企画展満足度	90	%	達成	R3年度を参考 R3年度目標値:90% 実績値:95% 回答数:1,306件(R3回答数1,064件)
				96	%		
4	満足度	自然観察会・講座等	アンケートでの受講者の満足度	90	%	達成	R3年度を参考 R3年度目標値:90% 実績値:99% 実施回数:講座7回、観察会7回
				99.7	%		
5	学校利用	学校教育への支援	学校団体の博物館利用件数	119	校	達成	基準値:119 目標参考値:R3年度実績106 観覧:99校、講師派遣:28校
				127	校		
6	情報発信	インターネットの活用	ツイート数	365	回	達成	1日1件以上のツイート 発信:722件、来館者感想への返信等:502件、情報転載:5,253件
				6,477	回		
7	調査研究	成果発表	研究成果の発表	12	件	達成	学芸系職員一人1件 研究報告3件 個人報文12件
				15	件		

年度内に取り組んだ重点事業、新たな取り組み等

事業の概要	<p>1 常設展の充実 2 特別展、企画展等の実施 3 講座・講演会等 4 学校との連携 5 国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類群」関連事業 6 関係機関との連携</p>
事業の実施状況と過程	<p>1 常設展の充実 ・岩畳を紹介する「長瀬の自然コーナー」の季節に応じた定期的交換のほか展示資料のメンテナンスを随時行った。生物展示ホール天井照明LED化、秩父鉱山コーナー展示台設置、パネル展コーナー展示ケース設置等の改修を実施。新型コロナウイルス感染症対策により中止していた触れる剥製、音声ガイド等を再開。</p> <p>2 企画、特別展等の実施 ・企画展：①生きものの名前(4/1～6/19、15,431人)、②奥秩父の自然(7/9～10/16、28,481人)、③自然の色と模様(3/11～3/31、3,418人) ・特別展：①The 蛇紋岩(10/29～2/26、17,649人) ②川の博物館特別展企画：海なし・雪なし・火山なし(7/9～10/16) ・パネル展：①カメラで撮る標本の世界(4/1～6/19) ②標本制作の技(6/21～10/16) ③水辺の鳥(10/18～2/26) ④発色のしくみ(2/28～3/31) ・小学校巡回企画展 寄居町教育委員会との共催により同町立小学校内に資料を展示。年2校、3年間で6校実施予定。 ①6/20～7/1用土小(観覧者：227人)、②10/31～11/11折原小(観覧者：137人)</p> <p>3 講座・講演会等 ①自然史講座5/28(13人)、7/16(10人)、8/5(10人)、10/8(13人)、12/3(27人)、1/28(13人)、3/4(10人) ②観察会4/16(17人)、5/14(18人)、6/25(13人)、9/17(17人)、10/22(14人)、11/26(17人)、2/18(9人) ③講師派遣20回998人(社会教育団体等) ④川の博物館特別展関連事業 講演会7/10、化石発掘体験7/29</p> <p>4 学校との連携 ①体験学習16回671人、②学校への出前授業10回635人、③学校利用受入れ99校4,227人 【再掲】小学校巡回企画展</p> <p>5 国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類群」関連事業 作業部会5回実施。今年度事業(フォトコンテスト)について協議。フォト募集12/23～3/1実施。</p> <p>6 関係機関との連携 ・地元観光協会：青もみじライトアップ(5/21～6/19)、長瀬の日(7/16)、もみじライトアップ(11/11～27)事業協力。 ・埼博連加盟の秩父地域博物館HPを作成、9館共同でTwitterによる広報を実施、紹介パネルを当館入口に設置。</p>

事業の成果	1 常設展の充実
	・令和4年度3月末現在の来館者数は68,757人。来館者アンケートでは97%の満足度を得ることができた。
	・感染拡大防止対策(検温、手指消毒、館内清掃、入館者制限等)実施した上で、アンケートで要望の多かった触れる剥製や音声ガイド、ディスカバリーコーナー部を再開し多くの来館者に楽しんでいただけた。
	・秩父鉱山資料受入れに伴う展示台設置、ディスカバリーコーナーへの大型鉱物資料の展示により好評を得ることができた。
	2 特別展、企画展の実施
	・特別展「蛇紋岩」では、熱心に見る観覧者が見られたほか、展示解説書の購入申し込みが全国的に寄せられ、増刷するも会期中に品切れとなるなど高い関心を得た特別展となった。
	・企画展は年間計画通り実施することができた。「奥秩父の自然」は96%の満足度を得ることができた。秩父まるごとジオパーク推進協議会の共催を得て開催するなど、特に地域と連携した事業展開を行った。「生きものの名前」では98%の満足度を得ることができた。哺乳類、爬虫類、鳥類、昆虫、植物、鉱物、化石等、多彩な実物標本を展示し好評を得た。
	3 講座・講演会等
	・全て年間計画どおり実施できた。研究発表会は96%の満足度でその他の事業は100%の満足度を得ることができた。
	4 学校との連携
・教員等を対象とした「授業に役立つ博物館活用講座」を実施。講堂を会場としたほかオンライン参加方式を取り、今後の開催方法を検討するうえでの実績となった。	
5 国天然記念物「古秩父湾」関連事業	
・古秩父湾作業部会の2年目の事業として古秩父湾フォトコンテストを実施。当作業部会の事業を順調に軌道に乗せることができた。	
6 関係機関との連携	
・長瀬町観光協会との連携事業や古秩父湾作業部会事業の実施、埼博連秩父地域加盟館9館のHPを当館で設けて情報発信を行なうなどの事業を着実に展開し地域の一体感を更に高めた。	
※ HPやTwitter等による積極的な情報発信・広報活動	
・HPに動画2件を新規掲載したほか、Twitterによる積極的な投稿を実施し、HP閲覧回数約85万回、Twitter表示回数約700万件を得た。	

基礎データ

職員数 (学芸員数)	19人 (11人)	総予算額 (人件費を除く)	24,956,000 円	職員一人あたりの県民人口	38.5 万人
収蔵資料総点数 (R4.3末現在)	174,000点	事業経費 (上記の内数)	17,717,000 円	利用者一人あたりのコスト (令和3年度)	321 円
令和3年度 収集資料点数	5,692点	特定財源予算額 (うち観覧料収入)	11,322,000 円 (9,720,030 円)	県民人口に対する利用者割合 (令和3年度)	1.06%

(注)令和4年度4月1日現在の埼玉県推計人口は7,331,256人である